

ボールの特性レポート

BALL REPORT



| | | | | | |
|------|---------|-----|-------|-----------------------|-----------|
| ボール名 | キラー・マシン | 投球者 | 徳江 和則 | センター | 平和島スターボウル |
| RG | 2.480 | △RG | 0.045 | ●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール | |

テストボール：キラー・マシン

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 番

4 インチ

比較対照ボール：ピンキラーV

フレアーの幅 インチ

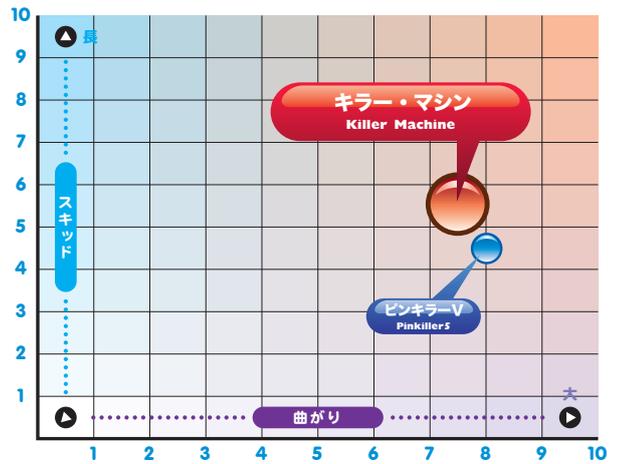
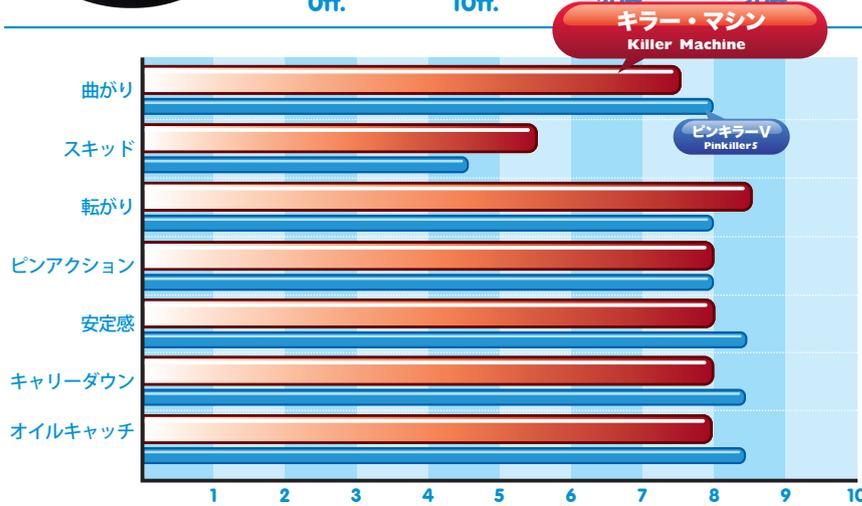
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 番

4 インチ



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

ハイポリッシュされた表面加工でありながら、キャッチを感じさせる極上なカバーストック。ミッドプライスであっても極上のカバーストックを纏わせることで総体的なパフォーマンスを1ランク上げること。今までのピンキラーシリーズの代名詞でもある走りや切れを重要視しつつ、「しっかりと走らせ、キャッチ感を強くする」。切れはもとより、極上のカバーストックに拘ったのは今までのピンキラーを凌ぐ領域に踏み込むこと。

性能を一新し、KILLER MACHINEとしての発売です。

数ヶ月前、ダイノタン社ケミカル担当者から届いたテストボールに今回使用しているカバーストックの元となるボールがありました。我々開発スタッフはそのカバーストックに惚れ、ピンキラーでの発売を目指し、コアの数値及びカバーストックの調整を行ってきました。如何にこの良いカバーストックの特性を活かし、我々が求めている性能に近付けるか。

ミディアムコンディションを中心に走る印象があり、かといってオイルに対しての弱さは感じさせないグリップ感。

このKILLER MACHINEは今の日本のコンディション事情にマッチすると思われ、どのタイプの方にも使って頂くことのできるオールマイティーな性能にあえて狙い撃ちで仕上げました。

表面加工を施せば手前からのトラクションも出すことは出来ますが、拘った性能だからこそ箱出しのまま使用して頂き、このカバーストックの良さを感じて頂けたらと思います。

配色も今までにない綺麗さで、女性の方にも是非試して頂きたい逸品です。

特記事項

今回のKILLER MACHINEは極上のカバーストックを纏い、日本のコンディションにマッチさせるべく我々が拘り尽くした日本監修のインターナショナルでの発売です。